



ア — — — — ル
 PLACE TO THINK ABOUT "R".
 R means Reduce / Reuse /
 Recycle / Refuse / Repair and more.

解体工事で出た廃材だけで造られたカフェ！？

賃貸マンションの一室が「サステナブルな暮らしの実験場」として生まれ変わる

～ 練馬区石神井公園の一角から始まる SDGs への取り組み ～

「地域に開かれたシェアハウス」をモットーにシェアハウスの企画・運営・管理を行う合同会社シェアリアル（本社：板橋区南常盤台 代表社員：谷口裕紀）と「脱プラスチックを掲げる野菜直売」や「IoT デバイスを用いた海ごみ削減プロジェクト」など、社会課題をクリエイティブで解決するノウ株式会社（本社：練馬区石神井公園、代表取締役：深津康幸）が、東京都練馬区石神井公園にある賃貸マンションの一部をリノベーションし、サステナブルな暮らしの実験場「R（ア— — — — ル）」として、地域に開かれたオープンスペース兼、マンション住人向けには次世代型の共用部として、地域価値と不動産価値の両方を同時に向上させる場としてオープンしました。



BEFORE：一般的な間取りの低層マンション



AFTER：1階の部屋をリノベーション。解体工事で出た廃材を再利用して空間を造りました。

Rは、サステナブルな暮らしを考える実験の場です。今、世界では「サステナブル・シティ（持続可能な都市）」のあり方についての議論が活発化。日本でも、私たち一人一人がとりうるアクションを問われています。

サステナブルとは、人間・社会・地球環境の持続可能な発展を意味します。これは、私たち一人ひとりの暮らしにも繋がるテーマです。では、私たちはサステナブルな暮らし方が出来ているのでしょうか？「関心はあるけど、何から行えば良いか分からない」そんな人が多いのではないかと思います。Rは、そんな人々が集まり、これからの暮らしについて、ともに学び、ともに考え、ともに行動する実験と実践の場として地域活性化に取り組んでいきます。

Rを構成する要素

Rは、5つのRのつく言葉から成ります。

Reduce（リデュース：ゴミ削減）、Reuse（リユース：再利用）、Recycle（リサイクル：再資源）、Refuse（リフューズ：不要なものは買わない）、Repair（リペア：修理して長く使う）。



アール
PLACE TO THINK ABOUT "R".
R means Reduce / Reuse /
Recycle / Refuse / Repair and more.

PRESS RELEASE #1

November 2020

R（アール）には、カフェ兼コミュニティスペースの「R-Space」とシェアオフィスとして働ける「R-Office」、R-Spaceを共用部として住むこともできる「R-Home」がございます。

R-Space

シェアキッチン、コミュニティスペース、コワーキングオフィス、カフェを兼ね備えた次世代型の共用部



マンション内にありながら、シェアキッチン / コミュニティスペース / コワーキングオフィス / カフェスペースを兼ね備え、マンション外にも開かれた「次世代型の共用部」。マンションにお住まいの方はもちろん、街で暮らす全ての方にご利用いただけます。

解体工事で出た廃材を利用して造られた内装や家具

壊す部分と残す部分を現場で解体をしながら、その場で判断し造る。買った方が安くて調達も楽な材料も、廃材を丁寧に製材し再利用しています。



以前は、ダイニングとリビングを隔てる引き戸を再利用し、テーブルの天板に。脚は床を解体して出た木材を使用。釘を丁寧に抜いて再利用しています。

壁の一部をそのまま残し、プロジェクターなどを投影できるスクリーンに。



ア-----ル
PLACE TO THINK ABOUT "R".
R means Reduce / Reuse /
Recycle / Refuse / Repair and more.

PRESS RELEASE #1

November 2020



床の解体から調達した木材を使用して制作した建具。ところどころ引き抜いた 和室の床と畳を一部残し、小上がりに。釘の穴が残っています。

地域に開くシェアキッチンで創業支援



廃材から造られたカウンターキッチン。コンロやオーブン、冷蔵庫を備え、1日店長や、貸し切り利用、物販など、お店を持たずとも営業を始められるチャレンジショップとしてのご利用も可能です。また、周りに集うクリエイター達に、デザイン経営、広報PRなど、相談もできます。

R-Office

住宅街の集合住宅の中に創られた職住近接シェアオフィス



R-Space の上階の1室をリノベーション。近隣のクリエイターやリモートワーカーの方々が職住近接で利用できるシェアオフィスを造りました。R-Space 同様、R の考えをいくつも取り入れた空間になっています。



ア-----ル
 PLACE TO THINK ABOUT "R".
 R means Reduce / Reuse /
 Recycle / Refuse / Repair and more.

残すことで造られる内装



解体した壁の下地をそのままに、閉塞感なく空間を程よく区切る仕切りに。

以前は、各部屋で使用されていた引き戸や扉をパーティションに再利用。

押入れの空間は、程よい高さのテーブルにリメイクしました。

R-Home

サステナブルで快適な生活を日常に落とし込める住空間



R-Spaceと同じフロアの1室を、家具家電付きのマンション住宅としてプロデュース。
 備え付けの家具はR-SpaceやR-Officeの解体で出た廃材で丁寧にリメイクした一点物ばかりです。
 「サステナブル」と聞くと、何かを我慢しなければならぬと思われがちですが、それでは長続きはしません。「ミニマムだけど必要十分で、快適性のある暮らし」そんなイメージを具現化した、ずっと住み続けたいくなる住空間です。



ア———ル
PLACE TO THINK ABOUT "R".
R means Reduce / Reuse /
Recycle / Refuse / Repair and more.

PRESS RELEASE #1

November 2020

今後開催予定のイベント

毎月、一つのテーマを掲げ、隔週で様々なゲストを招いて、トークイベントや勉強会とワークショップを開催します。



オープン記念企画として、循環型経済の先進国として注目されるデンマークから、日本とデンマークのポテンシャルを活かしたコンサルティングと新たなビジネスモデルの企画プロデュースを行う ayanomimi 代表の岡村彩さんをゲストに招き、デンマークと R の活動の共通点を探りながら、未来を語り合うトークセッションを行います。



マンションの生垣を取り除く際に伐採した樁の木。その木を捨てずに乾燥させ、木工職人さんのレクチャーの元、お箸づくりのワークショップを行います。樁はとても手触りが良く、程よい硬さで、実はお箸にするのに向いている木、捨てるはずの材料を活用したアップサイクルワークショップです。

R OFFICIAL PARTNER について

「R OFFICIAL PARTNER」とは、世界中で行われるサステナブルな取り組みに携わられている方々や企業様と情報連携や新たなプロジェクトの立ち上げを行うパートナーシップです。最初のメンバーには、循環型経済の先進国デンマークコペンハーゲンで活躍される岡村彩が加わっていただきました。

岡村 彩 / ayanomimi 代表、企画プロデューサー

コペンハーゲン生まれ。日本人の両親のもと、地元の幼稚園、学校に通いデンマークの教育を受けて育つ。幼い頃からクリエイターに接する機会に恵まれデザインビジネスに興味を持つようになり大学ではコペンハーゲン商科大学大学院（慶應義塾大学商学研究科）で経営学を専攻。2009年にインキュベーションオフィス Copenhagen School of Entrepreneurship の一期生となりビジネスコンサルティングの会社「ayanomimi」を設立。日本語、デンマーク語、英語でビジネスがスムーズに進むためのコミュニケーション、イベントプロデュース、ブランディング、ビジネスのコーディネート、企業戦略のアドバイスなど、幅広く行う。日本とデンマークのポテンシャルを活かしたコンサルティングと新たなビジネスモデルの企画プロデュースを行っている。



詳しくはこちらをご覧ください

<https://ayanomimi.com/ja/>



ア - - - - - ル
PLACE TO THINK ABOUT "R".
R means Reduce / Reuse /
Recycle / Refuse / Repair and more.

PRESS RELEASE #1

November 2020

R SUSTAINABLE SALON について



ともに学び、ともに考え、ともに行動するための仕組みとして月額 500 円で参加できるオンラインサロンも開設しました。メンバー限定のクロードグループで様々なサステナブル関連の情報共有やメンバーのみのオンオフ会のお誘いなどや、有料の勉強会やイベントに無料で参加いただいたり、「R-Space」をコワーキングスペースとしてご利用いただけます。

オンラインサロンページ：

<https://community.camp-fire.jp/projects/view/329593>

運営会社

合同会社シェアリアル / shareal LLC. の概要

『シェア』という言葉の持つ本質（リアル）を追い続ける」ことを理念として掲げている弊社。現在は、シェアハウスの企画・運営・管理を主な事業ドメインとし、「住む」の価値を底上げするための企画に積極的に取り組んでいる。ただ新しものを作るよりも、もともとあったモノの価値を高めて再利用する「アップサイクル」に軸足を置き、物件内のコミュニティに収束しがちなシェアハウスを「地域に開かれた場」としてプロデュースすることに強みを持つ。

サイト：<https://shareal.tokyo/>

ノウ株式会社 / know Inc. の概要

事業領域「暮らしに関することすべて」を掲げ、グラフィック、インテリア・プロダクト、デジタルコンテンツ、インスタレーション、ハードウェアやサービス開発などジャンルを超えて、様々なコンテンツのプロデュース、企画、ディレクションを手がけてきた知識・経験を生かし、暮らしを豊かにするグラウンドデッド（地に足のついた）な価値を追求する会社。

サイト：<https://know-corp.jp/>

プレスリリースに関するお問い合わせ：contact@rrrrre.space 担当：深津

入居に関するお問い合わせ：info@shareal.tokyo 担当：篠崎

<https://rrrrre.space>